

# かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

## 【「認知症カフェ」とは？②】

介護する家族から、「認知症の本人と一緒に出かけようと思っても、外出先ではぐれて周囲に迷惑をかけたくないから安心して外出できる場所が少ない」という不満を耳にします。外出する機会が減ると、認知症の方はこもりがちになってしまい、心身ともにマイナスです。認知症カフェは家から近い距離にある場合が多いので、はぐれる心配がなく家族は安心して一緒に通えるでしょう。

認知症の方も、毎月家族と一緒に認知症カフェに通うと、毎回異なる参加者との会話を通して脳が刺激され、認知機能の急速な低下を予防できます。同時に、こもりがちな問題の解決にもつながります。

一方で、デイサービスの通所を拒否する人の“慣れの場”としても効果的です。いきなり知らない人ばかりの場所に行くとなると、誰でも不安を感じるでしょう。

ですが、家族と一緒になら行ってみようかなと、興味を示してくれるケースもあります。ただし、高齢者の中には「認知症」という言葉に敏感な人も少なくありません。家族が誘う際は、「地域の人が集まるお茶会があるから知り合いをつくりに行こう」と伝えて下さい。

認知症カフェの日程や場所は、行政のホームページなどに記載されているので確認してみてください。〔連載終わり〕

(大川昭宏医師)

〔※当コラムは『日刊ゲンダイ』(R5. 6/26 掲載記事)からの転載になります。〕

## ～編集後記～スタッフのつぶやき～

ようやく猛暑の夏から抜け出せそうな季節になりました。夏が大好きな私でさえ、今年は相当堪えました。日中に外を歩くだけで頭がクラクラし、マイ日傘を買おうか本当に迷いました(笑)。大雨もたいへんでした。一度、線状降水帯に遭遇したのですが、何度も洗車中の車内にいる状態になり、側溝から噴水のように水が湧き出て、幹線道路が見る見るうちに冠水していきました。いつでも車を置いて逃げる覚悟で運転していましたが、初めて「雨」で恐怖を感じました。そして、まだまだ新型コロナ、インフルエンザ等の感染症も流行しています。年末に向け、再度気を引き締め直す必要があります。(K)

医療法人財団ファミーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2階

① 外来：心療内科＝大川昭宏院長、永井斐子副院長  
内科＝駒形清則医師 (第2・第4火曜のみ)

②訪問診療

内科＝駒形清則医師

駒形明紀医師(非常勤)

精神科＝米谷充医師(非常勤)

神経内科＝今井壽正医師、西岡健弥医師(非常勤)

※詳しくはホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233